

令和 2 年度 事務事業評価シート

事務事業の概要・計画 (PLAN)

事務事業名	[6230] 後期高齢者医療特別会計繰出金・諸費等	会計名称	一般会計	担当課	市民課
		予算科目	3 款 1 項 15 目 事業番号 9834	所属長名	高橋洋司
事業評価の有無	<input type="checkbox"/> 評価対象事業 <input checked="" type="checkbox"/> 評価対象外事業 (事業の概要・結果のみ)			担当責任者名	武智ゆかり
法令根拠等	地方自治法第291条の4第1項 (広域連合規約) 伊予市後期高齢者医療の被保険者に対するはり又はきゅう施術助成要綱			実施期間	【開始】 令和/平成 20 年度 【終了】 令和 年度(予定) ■ 設定なし
総合計画での位置付け	健康福祉都市の創造 生涯にわたる健康づくり				
総合計画における本事業の役割	後期高齢者が安心して医療サービスを受けることができる環境を整備する。				
事業の対象	後期高齢者医療被保険者	事業の目的	後期高齢者医療被保険者に係る療養給付費の一部を負担することで、後期高齢者医療財政の安定化を図る。また、被保険者のはり・きゅう施術料の一部を助成する。また、特別会計に人件費・事務費・共通経費・基盤安定負担金を繰り出し、特別会計の繰り入れとする。		
事業の内容 (整備内容)	愛媛県後期高齢者医療広域連合に対し、療養の給付等に要する費用の負担対象額の1/12に相当する額を、療養給付費負担金として支払う。また、被保険者が市内施術所でうけたはり・きゅう施術費用の一部を助成する。	評価事業としないこととした理由	広域連合が給付実績に基づき算定した事務費、共通経費、基盤安定負担金が主であるため。		

事業活動の内容・成果 (DO)

事業費及び財源内訳 (千円)							事業活動の実績 (活動指標)					
項目	前年度決算	当初予算額	補正予算額	継続費その他	翌年度繰越	決算額	項目	単位	前年度実績	2年度予定	9月末の実績	2年度実績
直接事業費	656,391	644,587	0	0	0	639,587	療養給付費等負担金	円	501452	478938	319296	478938
財源内訳							職員給与・事務費	円	14345	16049	0	14739
国庫支出金	0	0	0	0	0	0	広域連合共通経費	円	12132	14120	0	12000
県支出金	96,345	101,610	0	0	0	100,433	基盤安定事業費負担金	円	128460	135480	0	133910
地方債	0	0	0	0	0	0						
その他	0	0	0	0	0	0						
一般財源	560,046	542,977	0	0	0	539,154						
職員の人工 (にんく) 数	0.10	0.01				0.01						
1人工当たりの人件費単価	7,992	7,812				7,812						
※ 直接事業費+人件費	657,190	644,665				639,665						
主な実施主体	直接実施	実施形態 (補助金・指定管理料・委託料等の記載欄)										
向こう5年間の直接事業費の推移 (千円)					3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度	5年間の合計		
					670,000	670,000	670,000	670,000	670,000	3,350,000		

事務事業評価 (CHECK)

自己判定 (担当責任者)	事業の成果	療養給付費負担金や特別会計繰出金については、広域連合からの額決定通知で支払いとなるため、再考の余地はない。はり・きゅうの助成については、対象者が減少しており、国保事業も含めて事業の見直しを検討すべきであると考え。	
一次判定	事業の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 事業継続と判断する。 <input type="checkbox"/> 事業縮小と判断する <input type="checkbox"/> 事業廃止と判断する	判断の理由 後期高齢者医療特別会計を運用するための法定の負担金及び繰出金であり、制度の運営のために必要な事業である。

二次判定	<input checked="" type="checkbox"/>	一次判定結果のとおり事業継続と判断する。	⇒	指摘事項を踏まえ、事務改善、事業推進に努め、今年度の事務事業評価シートに反映させること。
	<input type="checkbox"/>	一次判定結果のとおり事業継続と判断するが、以下の課題を新たに追加する。		
	<input type="checkbox"/>	一次判定は以下の点について外部評価が必要と判断し、行政評価委員会に諮ることとする。		
	<input type="checkbox"/>	一次判定結果のとおり事業縮小と判断し、行政評価委員会に諮ることとする。		
	<input type="checkbox"/>	一次判定結果のとおり事業廃止と判断し、行政評価委員会に諮ることとする。		
	<input type="checkbox"/>	既に事業廃止が決定していることから、廃止に向けた手続を行う。		

行政評価委員会の答申 外部評価	答申の内容

今後の方向性 (ACTION)

経営者会議 の最終判断	事業の方向性		コメント欄
	<input type="checkbox"/>	さらに重点化する。	
	<input checked="" type="checkbox"/>	現状のまま継続する。	
	<input type="checkbox"/>	見直しの上、継続する。	
	<input type="checkbox"/>	事業の縮小を検討する。 事業を縮小する。	
	<input type="checkbox"/>	事業の休止、廃止を検討する。 事業を休止、廃止する。	